

美 259 学

感覚の共有可能性と個別性——カント『判断力批判』再考——	小林 信之	1
宗白華の中国芸術論における儒家と道家の応用	丁 乙	12
歪められた肖像の「政治的」効用 ——E・クリスとE・H・ゴンブリッチのカリカチュア研究から出発して——	二宮 望	24
ヒトラー政権の芸術政策と帝国日本の美術界	江口みなみ	36
フーゴ・リーマンの『音楽事典』にみる概念変容と 隣接学問分野との相互作用——和声理論を中心に——	西田 紘子	48
劉呐鷗の『現代電影』における女性表象と映画出版の大衆的公共圏	李 珂	60
第七十二回美学会全国大会報告		
大会報告		72
発表要旨（一覧は 121-122 頁を参照）		77
書評		
加須屋明子 著『現代美術の場としてのポーランド——カントルからの継承と変容』 創元社、2021年	井口 壽乃	96
大森淳史 著『〈ブリュッケ〉とその時代——個人主義と共同体のあいだで』 三元社、2019年	前田富士男	100
例会・研究発表会発表要旨		107
学会消息・編集後記		118
欧文要旨		126